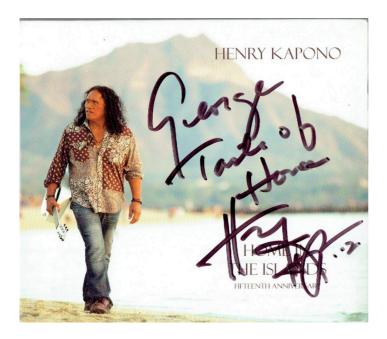
OTB_#094_Jan.2015

Text & Photo: George Cockle 文・写真/ジョージ・カックル

ハワイアンロックのベテラン、 ヘンリー・カポノの『Dukes on Sunday』





ハワイに行くと、絶対やること。それは 朝早くからモアナ・サーフライダーへ行って、 ブレックファストを食べること。それもビュ フェじゃなくて、エッグス・ベネディクトをア ラカルトで頼む。永遠に注いでくれるコーヒ -も一緒にね。そしてひとりだったら、新 聞を読む(もちろん英字。実は日本語はあ まり読めないんだ)。こうやって一日をスター トすると、すごくリッチな気分になれる(泊 まってなくてもね)。 ゆったりと朝の時間を 過ごしたあとは、ワイキキのビーチボーイの 小屋に行って、彼らからできるだけバカでっ かいソフトボードを2時間借りて波乗りをす る。ひとしきり遊んでサンセットの時間にな ったら、もう一度モアナ・サーフライダーに 戻り、大きなバニヤンツリーの下で、ハワイ アン音楽に耳を傾ける。ポチャッと太って いるフラダンサー達の緩やかな踊りを見な がら、傘が刺さっているトロピカルドリンク を飲むのが大好きだ。毎回、何杯も飲むけ ど、順番は決まっている。最初はちょっとラ ムが効き過ぎたマイタイ。その後は甘いコ コナッツの味のピニャ・コラーダ、それから

グラスのリムに塩がたっぷり付いたマルガリータ。お次は、くだらなさ過ぎて酔いが回らないと頼めない、竹製の孫の手が刺さったトロピカル・イッチ。直訳するとトロピカルのかゆみだが、実はもう一つ、トロピカルなところに行きたいと言う意味もある。

でも日曜はモアナ・サーフライダーには行 かない。日曜はモアナからダイヤモンドへッ ド側にちょっと行ったアウトリガーホテルに あるレストランバーのデュークスに行く。こ こも毎日観光客でいっぱいだ。デュークス のキャッチフレーズはOn The Sand in Waikiki (ワイキキの砂浜にある) だ。名前 はハワイのサーフレジェンド、デューク・カ ハナモクからとったという。昨年20周年を 迎え、デュークスはハワイのトラディション になった。日曜のサンセットタイムには、た いていヘンリー・カポノのライブがある。こ の雑誌の読者なら、きっと彼のことは知っ ているだろう。70年代に活動していたシシ リオ・アンド・カポノのカポノの方だ。彼は ハワイアンロックのベテランで、 デュー クスでは何年もこの時間にライブをやっ

てきた。 だから日曜日になると、 ローカルもたくさん音楽を聴きに来る。「デュークス・オン・サンデー」という曲もあるぐらいだ。 ゲストも誰が登場するかわからない。 この曲をカバーしているジミー・バフェットが飛び入りすることもある。 もしハワイに行ったら、日曜日にデュークスへ足を運んでみたらどうだろう。 このアルバム『Home In The Islands』は、 ヘンリーが2012年にリリースしたものだ。 デュークスに行けば聞けると思う。

とはいえ、俺は一昨年ハワイに行ったとき、このライブを見に行くために2日間、旅を伸ばしたが、残念ながら、この週だけへンリー・カポノはツアーに出ていていなかった。もうがっかりだった。まるで波のないサーフトリップみたいな感じだった。この気持ち、わかってくれるよね(笑)?



ジョージ・カックル \blacksquare 60~70 年代のロックに精通し、ラジオ・パーソナリティとしてインターFMや東京FMで活躍中。鎌倉出身・在住。波乗り歴40年の親父サーファー。www.whatsupmusicinc.com